

# 日本のプロスポーツの現状と法の支配

2002年11月26日  
経済産業研究所 BBL

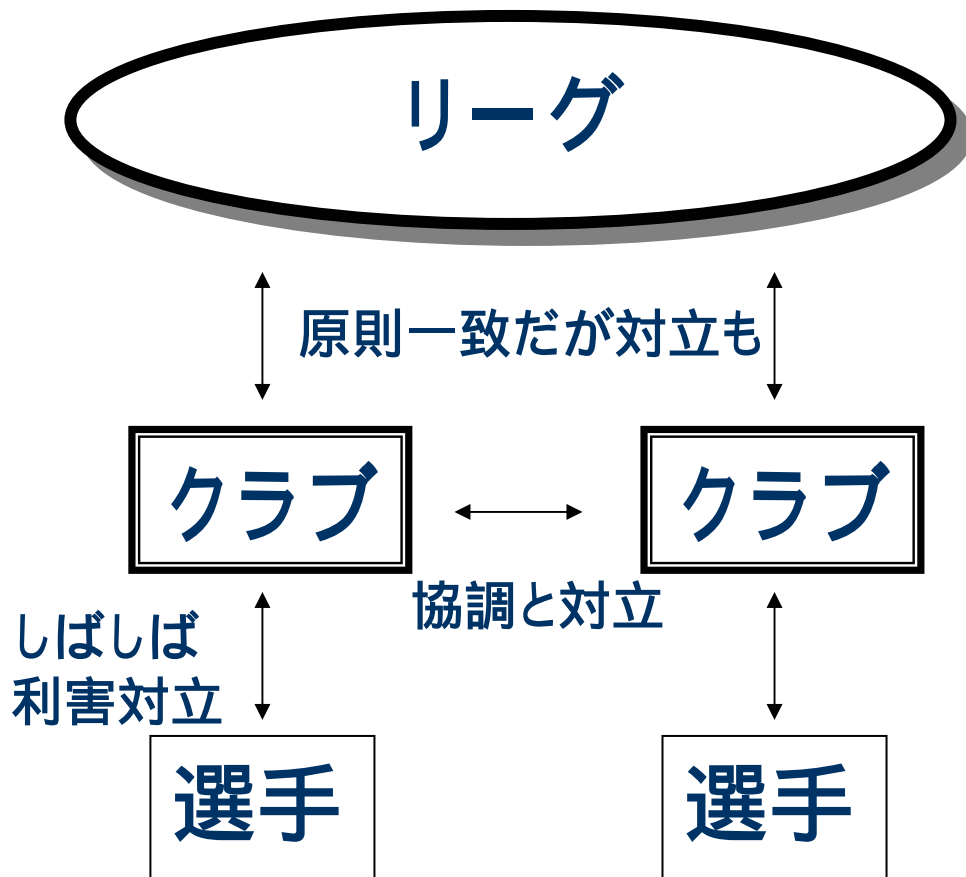
弁護士 石渡進介



# 視点1～リーグ内 (利害状況とルール化の方法)

- ◆ 構造(クラブ・リーグと選手の関係)
  - 利害状況
    - リーグ独自の規約
    - 選手契約(統一契約書の存在)
- ◆ 関係する法律
- ◆ 労使協定

# 構造 (クラブ・リーグと選手の関係)



- ◆ 独自の規約
  - 野球協約
  - Jリーグ規約
- ◆ 選手契約
  - 統一契約書
  - 法的性質

# 関係する法律

## ◆ クラブとクラブの関係は？

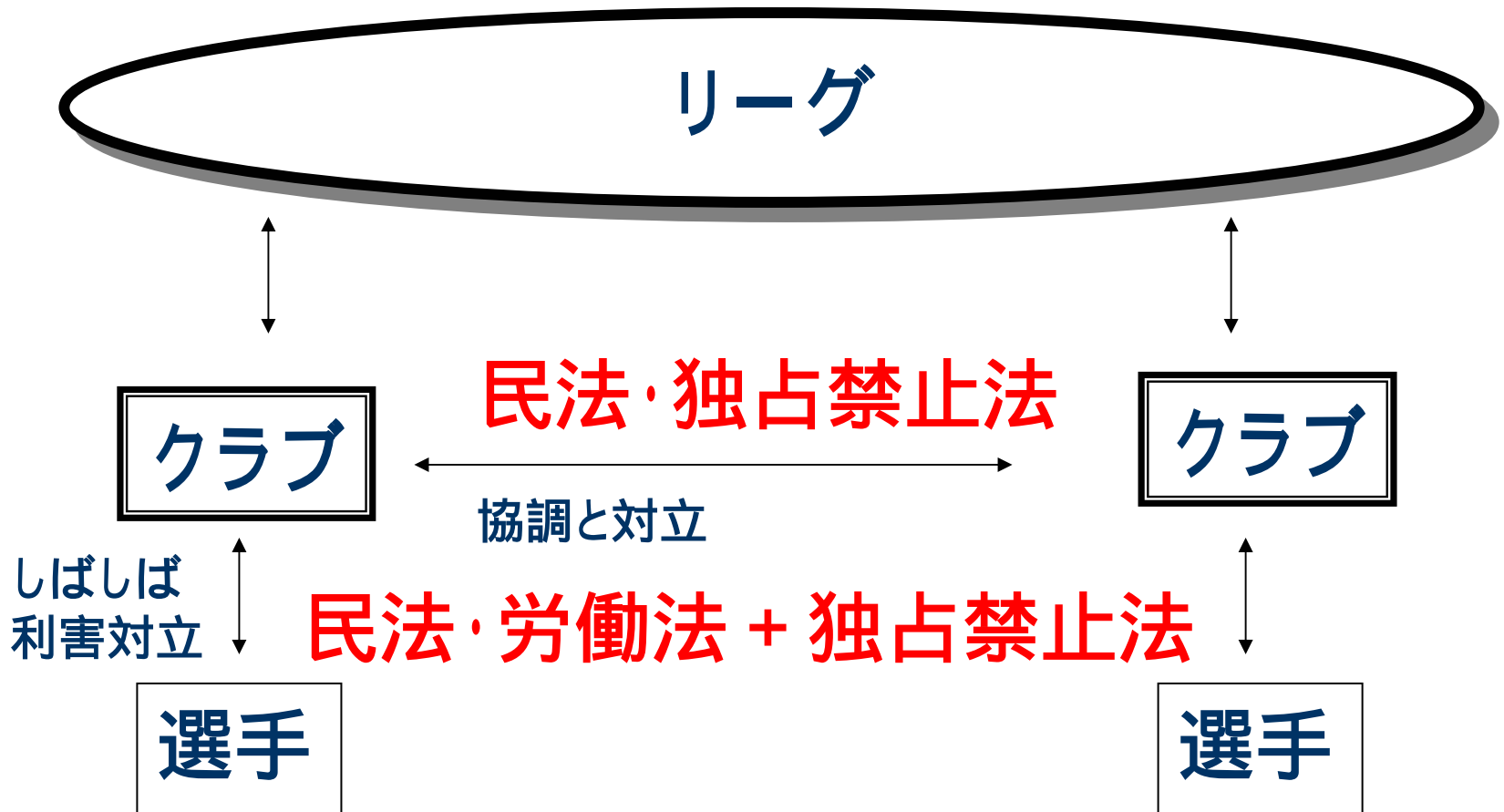
- 組合契約？ 民法・独占禁止法
- 株主間協定的契約？ 民法・独占禁止法

## ◆ 選手とクラブの関係は？

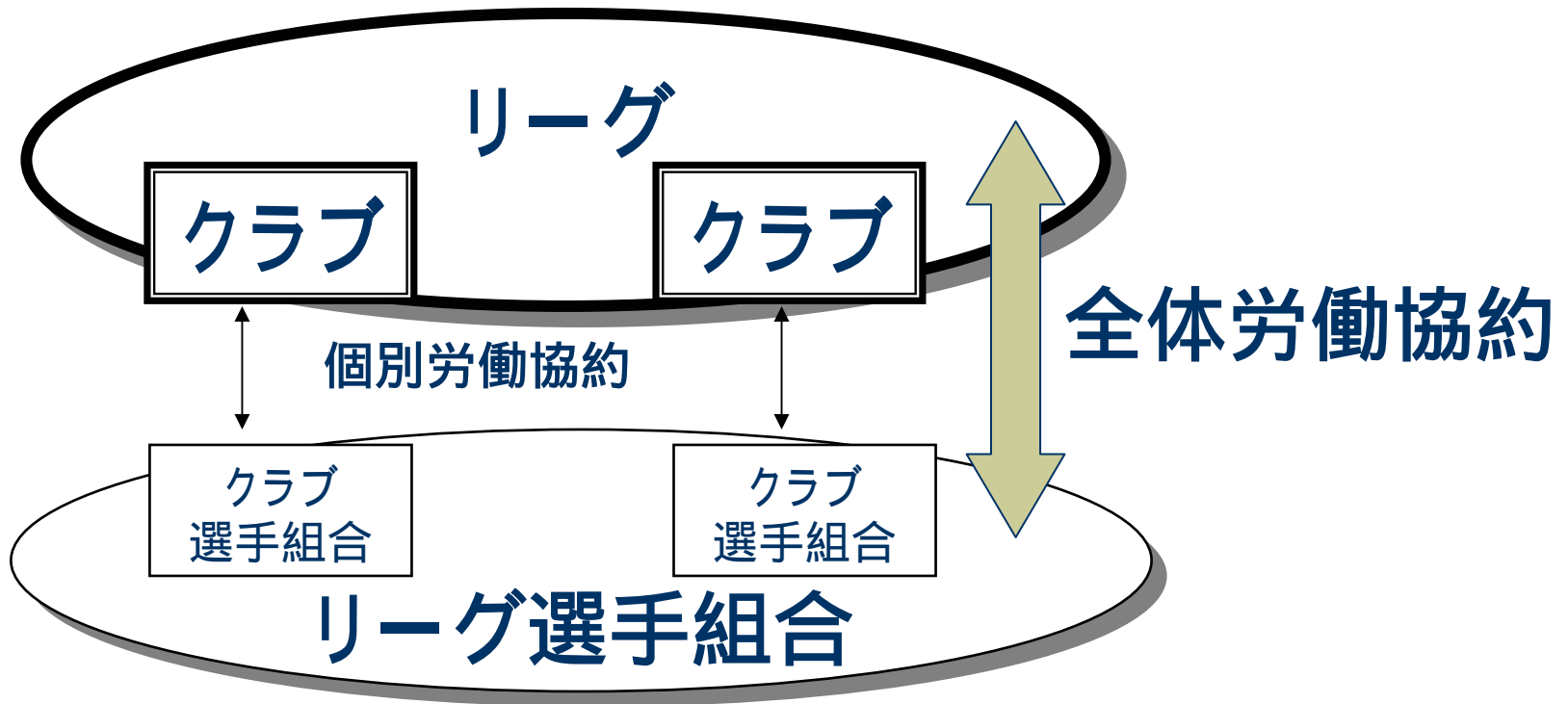
- 労働契約 民法・労働法
- 委任・請負契約 民法・独占禁止法  
しかし
- このようにステレオタイプに考えられるのか？

**法律の目的とする利害状況に応じて、労働法 + 独占禁止法の双方の適用を受ける**

# 関係する法律



# 労働協約

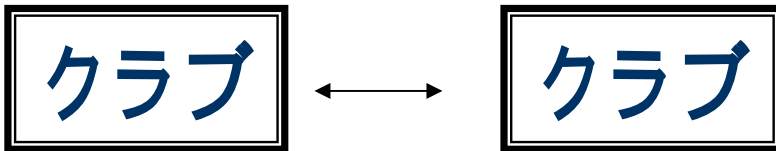


労働法 vs 独占禁止法の問題も発生しうる

# 利害調整

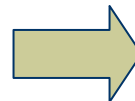


↑  
原則一致だが対立も  
↓



↑  
協調と対立  
↓

↑  
しばしば  
利害対立  
↓



**共存共栄の理念**  
**= 競争制限**

限られたマーケット(=ファン+選手)  
…基盤が弱い  
戦力均衡がマーケット利益を増加させる

VS

**自由主義的利益**  
**= 自由競争**



**共存共栄の理念**  
**= 競争制限**

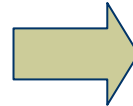
VS

**選手の権利の保護**  
**(労働法、独占禁止法)**

# 選手の権利の保護

## 侵害されやすい状況

- リーグ・クラブの利益主導の体制作り
- 知識の欠如
- 選手の団結の難しさ
  - 利益状況に大きな差がある
  - 地位の危うさ
  - 選手寿命の短さ
- ファンの意識

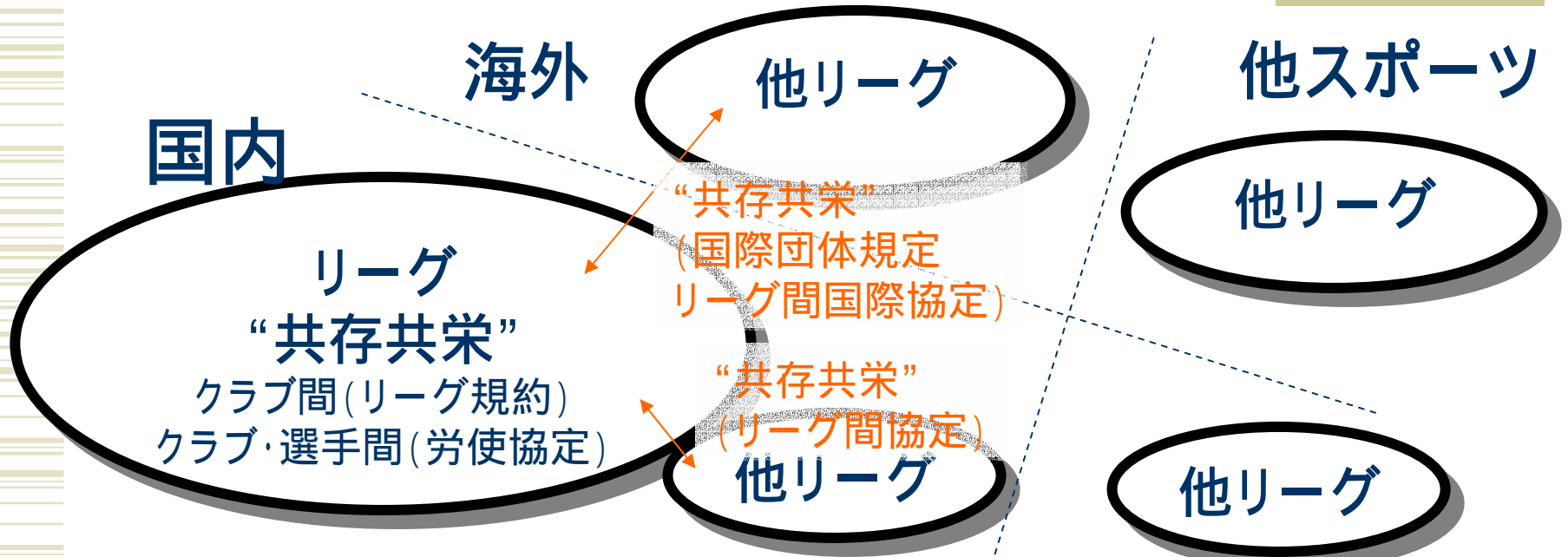


## 保護方法

- 法律による保護
- 労働組合の活動（ストモ）  
労働協約による保護
- 事後保護
  - 裁判・労働委員会
- 事前保護
  - **スポーツ特別法制定**
  - **ガイドライン**
  - **標準選手契約モデル**



# 視点2 ~ 他リーグまで (マーケット基盤の強弱と利益調整)



限られたマーケット(ファン+選手)をめくって  
自由主義的理念に基づく競争 自由競争

VS 共存共栄の理念 競争制限

ただし、選手の権利保護はより難しくなる

# 各論 (利益衝突場面)

## 1. 時系列による考察

プロ選手の誕生から引退まで

プロ選手の誕生 (初めての選手契約)

契約中

移籍 (リーグ内)

移籍 (他リーグへ)

引退

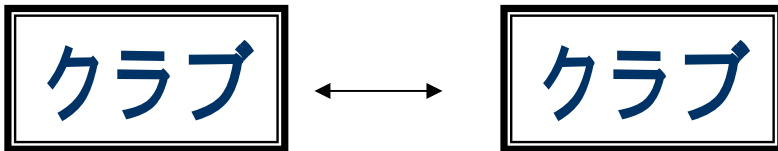
# プロ選手の誕生

- ◆ クラブ選択
  - 自由競争
  - ドラフト
  - 選手育成下部組織の存在による拘束
  - プロアマの関係
- ◆ 契約内容
  - 統一契約書という附合契約
    - 無効な条項の存在
  - 不十分な説明
    - 重要事項説明書などの必要性

# 「プロ選手誕生」利害状況



↑  
原則一致だが対立も  
↓



協調と対立

↑  
しばしば  
利害対立  
↓



共存共栄 = 戦力均衡  
ドラフト(ウェーバー)  
VS

自由主義的利益 =  
いい選手を自由に獲得  
自由競争

共存共栄 = 戦力均衡  
ドラフト・統一契約  
VS

選手の権利の保護 =  
球団選択・契約内容自由

# 「プロ選手誕生」特有の問題

- ◆ 労働協約では新契約選手の利益を守りきれない
  - 労働組合の不存在
    - 労働組合に入る前の契約前選手の保護
  - 既契約選手との利害対立
    - FAとドラフトのリンク
- ◆ 一部未成年者保護の観点が必要
  - 未成年者の保護者同席
  - FIFA新ルール(18歳未満の移籍禁止)

# プロ選手契約中

- ◆ 契約更改交渉
  - 代理人
  - 年俸仲裁
- ◆ 肖像権(パブリシティ権)の取り扱い
  - 個別使用
  - 包括使用
- ◆ 紛争解決機関

# 「プロ選手契約中」利害状況



**安定経営(利己的経営)**  
= 自己に有利な契約  
代理人否定、不平等  
仲裁、肖像権の一方的  
確保、不平等裁定

VS

**選手の権利の保護**  
代理人、フェアな仲裁、  
肖像権の確保、フェアな  
紛争解決

# 移籍(リーグ内)

- ◆ 拘束状態～保留制度か複数年契約での拘束か
- ◆ 拘束状態開放による移籍
  - 保留制度での拘束
    - フリーエージェント制度(F A)
  - 複数年契約での拘束
    - 契約期間の満了
    - 契約の解除
    - 移籍金
- ◆ 拘束状態を維持した移籍
  - トレード
  - レンタル移籍

## キーワード

◆保留制度

◆F A

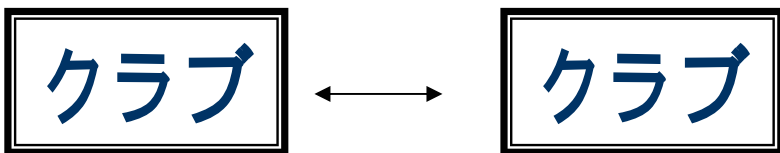
◆移籍金



# 「移籍(リーグ内)」利害状況

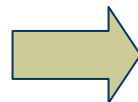


↑  
原則一致だが対立も  
↓



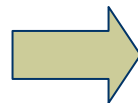
協調と対立

↑  
しばしば  
利害対立  
↓



共存共栄 = 戦力均衡  
保留制度、移籍金  
VS

自由主義的利益  
= いい選手をほしい  
自由競争



共存共栄 = 戦力均衡  
保留制度、移籍金  
VS

選手の権利の保護 =  
球団選択・契約内容自由

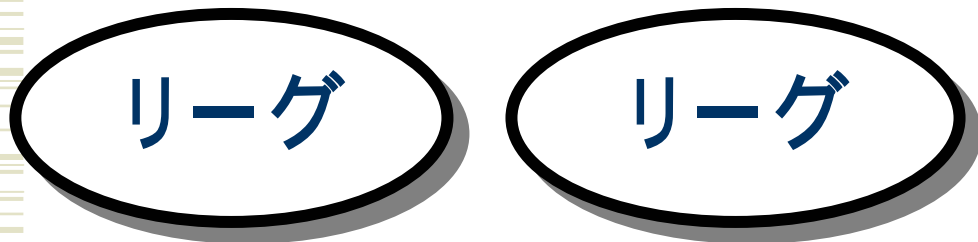
# 移籍(他リーグへ)

- ◆ 拘束状態～保留制度か複数年契約での拘束か
- ◆ 拘束状態開放による移籍
  - 保留制度での拘束
    - FA
  - 複数年契約での拘束
    - 契約期間の満了
    - 契約の解除
    - 移籍金
- ◆ 拘束状態を維持した移籍
  - **トレード(同ルール下でのみ可能?)**
  - レンタル移籍
  - **ポスティング**

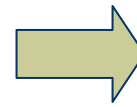
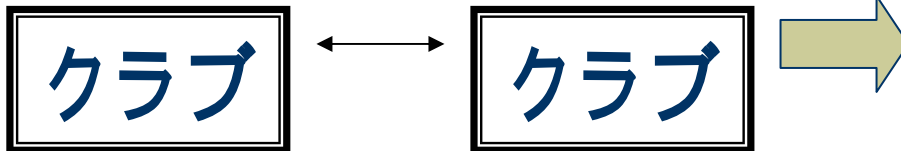
## キーワード

- ◆ 国際移籍規定・協定
- ◆ ボスマン判決
- ◆ ポスティング

# 「移籍(他リーグへ)」 利害状況



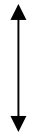
協調と対立



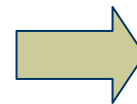
共存共栄 = 過当競争予防  
国際移籍規定等

VS

自由主義的利益  
= いい選手をほしい  
自由競争



しばしば  
利害対立



共存共栄 = 過当競争予防  
国際移籍規定等

VS

選手の権利の保護 =  
球団選択・契約内容自由

# 引退

## ◆ 引退後

- プロアマ問題
  - アマチュアへの復帰
  - 指導者へ
- 年金
- セカンドキャリア

# 問題状況

## 【クラブ利益】

- 共存共栄 - 戦力均衡など
- 合理的(利己的)経営

## 【問題】

### 自由競争

- 独占禁止法 - 不当な競争制限(クラブ間)

### 選手の権利保護

- 労働法 - 誠実交渉義務違反(クラブ・選手間)
- 独占禁止法 - 優越的地位の濫用(クラブ・選手間)

## 【正当化】

- 適正なクラブ間協議に基づく合意(クラブ間 / 参入についての障壁はNO！)
- 適正な労使交渉を経た労働協約の締結(クラブ・選手間)

# 各論(利益衝突場面)

## 2. 戦力均衡の視点での考察

### 戦力均衡のための利益調整制度

#### 保留制度

#### 移籍金制度

- ボスマン判決

#### サラリーキャップ制度

- 総選手報酬額に上限を定める

#### ラグジュアリー・タックス制度

- 年俸総額がある一定額を上回ったチームに負担金をかし、経営の苦しいチームへ回す
- サラリーキャップの変容

#### 移籍金プール制度

- 移籍金制度の変容

# 「戦力均衡」の問題状況

## 【保護利益】

- 共存共栄 = 戦力均衡

VS

- 自由競争
- 選手の権利保護

## 【問題】

- 常に独占禁止法との抵触の問題を生じる
- 選手の権利保護と衝突する

## 【正当化】

- シングル エンティティー ディフェンス
- 労働協約による正当化

# プロスポーツと法の支配 検討の指針

## ◆ 選手の権利保護

- 一般社会と比べて守られるべき利益はプロスポーツにおいても同様に守られなければならない
- リーグ・クラブの利益を追求しすぎて選手の権利や報酬が確立されていないならば、よい選手であってもスポーツを職業として選択することを躊躇することになり、スポーツマーケットの確保・発展は望めない。

## ◆ リーグ・クラブの利益

- 他方、選手の権利や報酬が強大になりすぎてよい選手を確保できないチームがでてくるとチームは弱体化し、ひいてはチーム間バランスが失われてマーケットの魅力がなくなってしまう危険性がある。
- 選手も完全な自由競争が制限されることの妥協を受け入れる

## ◆ バランスの良い利益調整



# 良好なバランスを確保する 前提条件

- 通常はリーグ・クラブの利益に流れがちなことを  
しっかり意識することが必要では…

## クラブ・リーグ

- 長期的視野にたった理念・ビジョン
- マーケット全体の拡大の努力
- 合理的な範囲での戦力均衡の意識
- 選手の権利保護がクラブ・リーグの利益になる意識
- ディスクロージャー

## 選手

- 労使対等な中での十分な労使交渉を行うことができる
- これが整わない場合は、選手に対して後見的な立場からのサポートが必要(行政によるガイドライン、標準選手契約モデル)

# さらに

- ◆ スポーツ文化、スポーツ公共財的観点からの公的調整の視点

スポーツ特別法の制定